



南の太陽の子 2号

光り、輝く、チーム南陽小
～太陽のように光り、輝け！仲間と共に笑顔いっぱい！～

令和6年4月30日
長崎市立南陽小学校
学校だより
校長 福島 世記

◎ 育友会総会での校長の挨拶（学校経営方針の説明）

26日（金）の授業参観・育友会総会には多くの保護者の皆様にご来校いただき感謝しております。総会での学校経営の説明は、簡単なものでしたのでわかりにくかったと思います。資料を載せておりますので、ご一読くださればありがたく思います。①

◆ 1 学校教育目標 ◆

光り、輝く、チーム南陽小

- 1 「光り」は、子どもたちが一人一人の個性や才能を発揮し、周囲を明るく照らす存在になること
- 2 「輝く」は、子どもたちが互いを尊重し、認め合い、協力することで、より大きな力を発揮すること
- 3 「チーム南陽小」は、子どもたち、教職員、保護者、地域が一体となって、より良い学校づくりを目指すこと

〈合言葉〉

「太陽のように光り、輝け！仲間と共に笑顔いっぱい！」

- 1 太陽のように輝く個性
太陽のように、一人一人が個性という光を輝かせる。互いを認め合い、尊重することで、それぞれの個性を最大限に発揮できる環境を育むことである。
- 2 仲間と共に高め合う力
チームワークを大切に、仲間と共に協力することで、困難な課題にも立ち向かい、目標達成に向けて力を合わせて進んでいくことである。
- 3 笑顔あふれる充実した学校生活
インクルーシブ教育を推進することにより、互いを尊重し、思いやりの心を育むことで、笑顔あふれる学校生活を実現し、心身ともに健やかに成長できる環境をつかっていくことである。

①について（学校教育目標）

「南陽小学校」の子供たちは「南の太陽の子供たち」だと思っています。だから、学校教育目標は「光り、輝く、チーム南陽小」とします。合言葉は「太陽のように光り、輝け！仲間と共に笑顔いっぱい！」です。一緒に覚えてください。

②

光り、輝く、チーム南陽小

◇ めざす学校の姿 ◇

- 一人一人の個性を尊重し、可能性を最大限に引き出す学校
- 主体的に学び、考え、行動する子どもが育つ学校
- **ワンチームとして保護者、地域とも連携し、共に教育に取り組む学校**



②について（目指す学校の姿）

「保護者の皆様」と「地域の方々」もワンチームです。協同して子どもを育てていきましょう。子育てを山登りに例えると学校と家庭は違う道かもしれませんが、でも、共に話し合いながら登り方を揃えていきましょう。

③

◆ 1 学校教育目標 ◆

光り、輝く、チーム南陽小

◇ めざす児童像 ◇

徳	知	体
思いやりと優しさをもち、互いを認め合う子ども	自分の個性や才能に自信をもち、自ら学び、考える子ども	健康でたくましい体と心をもった元気な子ども

「やりたくても やってはならないことがある
やりたくなくても やらなければならないことがある」



③について（目指す児童像）

「やりたくても やってはならないことがある やりたくなくても やらなければならないことがある」
学校や家庭で必ず使う場面が出てくると思います。

④

【具体的な取組】①確かな学力 ②社会性を育む ③働き方改革

① 確かな学力の向上

- ア 学習規律・生活規律を徹底（授業の基盤）
- イ 授業改善及び授業の見せ合い
- ウ 主体的・対話的で深い学びを導入した授業の展開
- エ UDの授業づくり：全ての子どもを同じ学びのステージに立たせる
- オ 家庭学習（自主学習）の充実…積み上げ学習
- カ 読書力（読書）を高めるための方策の探究（言葉のシャワー・読書）
- キ 学習の振り返りができるノートづくり
- ク 南陽スタイルの学び方づくり
- ケ 生活科・総合的な学習の時間を中心としたカリキュラム・マネジメントの推進（教科横断的な視点、文脈評価と改善に重点をおく）
- コ 学力調査の結果（帳票）の見方についての講義（東京書籍様を講師）
- サ 4月の学力テストよりも「目標値」を下回る子どもを一人でも減らす
・12月か1月に学力テストの実施
- シ キュビナ、問題集、ドリル等で問題のシャワーを浴びせる※



④について（学力の向上）

家庭学習は学力向上の鍵となります。ぜひご協力をお願いします。問題のシャワーを浴びせたく、キュビナや問題集を購入します。今年からキュビナは有料です。月200円。問題集も値上がりをしています。心苦しいのですが、ご理解をお願いします。

⑤

【具体的な取組】

- ② 子供たちの社会性を育む
 - ア 特別支援教育の視点に立った教育活動の推進(インクルーシブ教育の推進)
 - イ 見守りシートの活用(子供の家庭生活⇔学校生活を共有)
 - ウ 平和教育・人権教育の充実
 - エ 自分を見つめる・他者に思いを寄せる場の設定
 - オ 社会の潮流をふまえた学習<SDGs、ジェンダーフリー、LGBTQ、SOGI等>
 - カ 「つくる(体験的参加型学習)」の活用推進「誰一人取り残さない学級、学校をつくる」
 - キ 平等より、公平・公正を大事にする意識
 - ク 道徳教育の充実(日常生活と道徳科の学習との相互作用)
 - ケ 基本的生活習慣の定着(あははこ運動の啓発の強化)
 - コ メディアとの時間を自分でコントロールできる子どもの育成
 - サ 正しいマナーと正しい食べ方の定着と栄養のバランスがとれた「食育」の推進
 - シ 食育に関わる授業実践⇒長崎市教育委員会研究指定(6年度)



⑤について(社会性を育む)

今年度よりインクルーシブ教育を進めていきます。共生社会に向けて、ありのままの姿を認め合う学校にしていきたいのです。外国の方、障害をもった方、LGBTの方、個人個人の違いは当たり前です。「あははこ」運動のご協力もお願いします。

⑥

【具体的な取組】

- ③ 教職員の働き方改革のなお一層の推進

働き方改革=「子供たちに向き合う時間を確保すること」

教師は「元気で明るくはつらつとしているほうがよい」とは思いませんか？

☆ 教材研究の充実によりわかりやすい授業を行うことができます。

☆ 教師と子どものかかわりが手厚くなる。

【10年前の学校と比べて変化したり厳密化されたところ】

- 変化の激しい予測困難な時代
- 学習面
 - だれ一人取り残れない学び クロームブック ICT情報通信技術の整備 外国語教育 プログラミング教育 道徳科の新設 太鼓などの伝統や文化に触れる教育の必修化
 - SDGs(持続可能な開発目標) 膨大な文書作成 などなど
- 生活面
 - 多様性の時代 ジェンダーレス 個性の尊重 不登校とならないための対応
 - 熱中症対策 防犯意識の高まり 一斉メール 安心安全 引き渡し訓練 などなど



⑥について(教職員の働き方改革)

疲れ切った先生よりも、元気で明るくはつらつとしている先生の方がよくありませんか。「子供たちに向き合う時間を確保する」ための働き方改革です。しかし、10年前と比べるとたくさんのことが積み重なっているのです。

⑦

【具体的な取組】先生たちには「元気で明るくはつらつしてほしい!!」

- ③ 教職員の働き方改革のなお一層の推進
 - ・学期はじめ、終わりの事務時間の確保(給食後午前中5時間の実施)
 - ・通知表の簡略化(文章で伝える総合所見は3学期のみに)
 - ・電話対応は7時30分~17時30分
 - ・テトルによる文書の配信(学校・学年・学級だより)
 - ・テトルによる欠席の連絡(病状の記入を願います。)
 - ・学力向上の鍵は家庭学習(ご協力を願います。)などなど



⑦について(教職員の働き方改革)

教職員の働き方改革をなお一層推進するための取組を紹介しています。通知表の文章で伝える総合所見は3学期のみにします。特別支援学級の通知表も簡略化していきます。ご理解のほどお願いします。

⑧

○ ワンチームとして保護者、地域とも連携し、共に教育に取り組む学校

- 学校でも、家庭でも…
- 「困った〇〇(相手のせい)」ではなく
- 「困っている〇〇(相手を思う)」
- ⇒リフレクション(自分を振り返り)
- ⇒お互い寄り添い・連絡しあい・話し合う(同じベクトル)
- ⇒ウェルビーイング(良好な状態)
- ⇒太陽のように光り、輝く✧子供✧保護者✧教師
- ✧地域✧

- ☆ 集金ボランティア
- ★ 学習支援ボランティア



⑧について(ワンチームとして)

学校でも、家庭でも「困った〇〇」ではなく「困っている〇〇」です。相手のせいと考えず、自分を振り返りながら、話し合いましょう。良好な状態になるためです。太陽のように光り、輝く子ども、保護者、教師、地域となります。